



データベースの概要

医療用医薬品における「バイオ後続品」に関するデータベースです。

バイオ後続品に該当する医薬品と、その先行品を商品名毎に判別することが可能です。

在宅自己注射データベースと組み合わせることで、診療報酬における在宅自己注射指導管理料のうち、「バイオ後続品導入初期加算」の対象となる候補薬剤の判別にご利用いただけます。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

データベースの特徴

バイオ後続品に該当する医薬品とその先行品を、同一グループとして管理しています。

個別医薬品コードが異なる同一成分薬に対応

バイオ後続品とその先行品を同じグループとして管理しており、個別医薬品コードでは同一グループの判別ができない問題を解決します。

後続品と先行品はフラグにて判別することが可能です。

例

バイオ後続品のデータ（概略）

個別医薬品コード	商品名	成分名	後続区分	
2399402 F1026	レミケード点滴静注用100	インフリキシマブ（遺伝子組換え）	先行品	同一グループ
2399403 F1039	インフリキシマブBS点滴静注用100mg「NK」	インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続1]	後続品	
2399404 F1025	インフリキシマブBS点滴静注用100mg「あゆみ」	インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続2]	後続品	
4291406 D3021	ハーセプチン注射用60	トラスツズマブ（遺伝子組換え）	先行品	同一グループ
4291442 D1033	トラスツズマブBS点滴静注用60mg「NK」	トラスツズマブ（遺伝子組換え） [トラスツズマブ後続1]	後続品	

オースライズドジェネリック（AG）の判別に対応

後続品と先行品の他、AGについてもフラグにて判別することが可能です。

例

バイオ後続品のデータ（概略）

商品名	成分名	後続区分	AG区分*	
ネスブ注射液10μgブラシリンジ	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）	先行品	×	同一グループ
ダルベポエチン アルファ注10μg シリンジ「KKF」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）	後続品	○	
ダルベポエチン アルファBS注10μg シリンジ「JCR」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え） [ダルベポエチンアルファ後続1]	後続品	×	
ダルベポエチン アルファBS注10μg シリンジ「三和」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え） [ダルベポエチンアルファ後続2]	後続品	×	
ダルベポエチン アルファBS注射液10μg シリンジ「MYL」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え） [ダルベポエチンアルファ後続3]	後続品	×	

*○：該当、×：非該当

製剤単位による成分同一含有量に対応

バイオ後続品とその先行品の中から、成分含有量が同一の薬剤に絞り込んだ検索が可能です。

例

バイオ後続品のデータ（概略）

商品名	規格	一般的名称	
グラン注射液 75	75 μ g 0.3mL 1管	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	同一成分含有量 グループ
グランシリンジ 75	75 μ g 0.3mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	
フィルグラスチムB S注 75 μ g シリンジ「F」	75 μ g 0.3mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え） [フィルグラスチム後続1]	
グラン注射液 150	150 μ g 0.6mL 1管	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	同一成分含有量 グループ
フィルグラスチムB S注 150 μ g シリンジ「F」	150 μ g 0.6mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え） [フィルグラスチム後続1]	
フィルグラスチムB S注 150 μ g シリンジ「モチダ」	150 μ g 0.6mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え） [フィルグラスチム後続3]	

データベースの機能

バイオ後続品の判別

バイオ後続品を商品毎に判別しており、同一の成分での検索や含有量毎での検索が可能です。

在宅自己注射データベースと組み合わせることで、在宅自己注射指導管理料のうち、「バイオ後続品導入初期加算」の対象となる候補薬剤の判別にご利用いただけます。

また、先行品からバイオ後続品の検索も可能です。

<参考>

C101 在宅自己注射指導管理料（抜粋）

- 患者に対し、バイオ後続品に係る説明を行い、バイオ後続品を処方した場合には、バイオ後続品導入初期加算として、当該バイオ後続品の初回の処方日の属する月から起算して3月を限度として、150点を所定点数に加算する。

（2021年12月現在）

高品質な医薬品情報データベースで様々な課題を解決

データインデックスの医薬品情報データベースは、薬剤師や専門スタッフによる日々のメンテナンスと独自の情報処理技術を基盤としています。

豊富な情報量と高い品質を兼ね備え、医薬品情報によって病気の治療や健康をささえる「情報医療」の推進に貢献します。

詳しくはこちらから → <https://www.data-index.co.jp/>